事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。

受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

(тш/		1 77	· 1 /2 7 7	7于水山 四2	•			一八人	20 中	0 73	ıз ц	TF IX		
事務事業	■サービス部門 													
No./名 称	口支 援 部	門	. = 11:11:12:12:13	7- 2/4										
主管課	秘書広報課			関連課	関連課									
分野名	多文化共生:	社会												
目標	1 4 4 4 4 4	↓ 佐た芭香! ↓ ▶の中今! ♪ たナ切にするまた												
(目標値)	人権を尊重し、人との出会いを大切にするまち													
人口等の	データ区分	2	4年度	2	23年度			22年度			備考			
データ	人口		7,224人		177,204人 79,217世帯			177,161人 78,812世帯			·各年4月1日 (住民基本台帳)			
	世帯数	79,6	669世帯	79										
	事業の対象者数													
運営資源	決算値(千円)		267		286			489						
状 況	(国・県)						100							
	(負担金等)		007		000									
	(一般財源)		0.5		286 0.5 4.380			489 0.5 4.408			-			
	人員配置数		4.057	+										
	人件費(千円)協働の		,					国際交流 · 協力団体連絡会						
	パートナー	国際交流・協力団体連絡会		国际 文 加 *	国际文机 励力团体建构会		国际文派 圆刀固件建机工							
事務事業	総事業費(千円)		1,324		4,666			4,897						
運営経費	市民1人当	24			00			00						
	りの経費(円)				26		28							
	対象者1人										1			
	当りの経費(円)													
ベンチマーク	団体名⇒													
(県内外自治体														
や民間団体と														
の比較値)														
指標		評価	年度	21年度	22年度	Ę		23年度	244	年度	最終年	度(27年度)		
鎌倉市パートナーシティ制度による都市提携の推進		△ 目標値 実績値					1		1		1			
◎目標を達成 〇目標に向かって前進 △横ばい ×後退							0			0				
評価のポイント														

事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した 場合影響があるか。 ③有効性 中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

①効率性

評価の視点

事業費や人件費に削減余地はないか。

ヤザボに占よれらい。サポの計画(マ 回がず未び(N 女は衣田)											
小事業名	H24決算値	評価	適切=〇、	要改善=△(評	価の視点を参照	D :	⇒ 方向性		€•拡大 B∷ 含縮小 E:廃		○:改善・見直し
	267千円	①効率性	〇 ②妥当性	○ ③有効性	〇 ④公平性	0 :	⇒ □A	■B	□C	□D	□E
都市提携事業	事業の概要	交流を推進	する。		する市民に対し 『市提携である』						
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性		⇒ □A	□В	□C	□D	□E
	事業の概要										
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	:	⇒ □A	□В	□C	□D	□E
	事業の概要										
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性		⇒ □A	□В	□с	□D	□E
	事業の概要										
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性		⇒ □A	□В	□C	□D	□E
	事業の概要										

②妥当性

④公平性

事務事業の課題及び取組状況

予切予末のM. 医及び 机恒								
H24年度の課題	・市民や市民団体が行う都市交流事業等に奨励金を交付し、都市間交流を推進する。・市民団体の交流を主体とする鎌倉市パートナーシティ制度による都市間交流を推進する。							
課題解決のための取組	・都市交流事業等奨励金交付要綱に基づき奨励金を交付し、都市間交流の推進に努めた。・鎌倉市パートナーシティ制度に基づく申請があり、都市交流推進委員会での意見聴取などを行った。	取組の結果	□解 決 ■未解決					
未解決の課題	・都市交流事業等奨励金の交付については、実績が2件と低調であった。 ・鎌倉市パートナーシティ制度に基づく申請について、提携に向けた事務が継続中である。							

中事業の評価と今後の方向性

	適切=〇	①効率性	0		A:充実·拡大 B:現状継続C:改善·見直LD:統合縮小 E:B	廃止·休止	※□事業完了
	要改善=△(評価の視点を参照)	②妥当性	0	今後の 方向性	市民を主体とした都市交流を推進していくため、都市交流 事業等奨励金の周知及び利用の促進に努めていく。また、鎌倉市パートナーシティ制度による都市提携を推進していく。	1	課長等名
		3有効性	0			В	秘書広報課長
		④公平性	0			В	奈須 菊夫

(2面) 個別事業の評価 (単位:千円)

(2回) 個別事業の評価						(単位:千円)					
, — site s						評価⇒適切=	=〇、要改善=	= △(1面の評価の視点を参照)			
小事業名		ザイムスコード	個別事業名	24年度予算	24年度決算値	①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性		
		736	都市交流推進委員会委員報酬	144	52	0	0	0	0		
			都市交流事業協力謝礼	50	50	0	Ö	0	Ö		
			都市交流事業等奨励金	240	80	0	0	0	0		
			筆耕翻訳料	162	31	0	0	0	0		
	主	/36	全国足利氏ゆかりの会負担金	30	30	0	0	0	0		
to -1- 10 1# == alk	主な個別事										
都市提携事業	別										
	業										
		0									
	主										
	な個										
	主な個別事										
	事業										
	主										
	主な個別事										
	別										
	争業										
	211										
	主										
	主な個別事業										
	別										
	争業										
	主										
	主な個別事業										
	別 東										
	争業										